

いるところであり、本年度につきましては、選果や出荷体制の充実を図り、今後の増産計画に資するため、共同選果施設の整備に向けて支援してまいります。

軽種馬振興につきましては、市場での売却率や取引価格は、共に回復の兆しがみられますが、軽種馬振興会や関係団体との連携を図りながら、「競走馬生産振興事業」の活用や飼養管理技術の伝達など、強い馬づくりを推進すると共に、販売対策では引き続きコンサイナー費用への助成やインターネットを活用した売り馬情報システムの取り組みに対して支援を行ってまいります。

また、ホッカイドウ競馬や地方競馬での協賛レースやアイバ祭の実施など、売上向上対策への支援も引き続き行い、馬産地として競馬事業の振興に努め、新冠産馬の取引向上につなげてまいります。



新ひだか町で開かれるアイバ祭

水稲及び畑作の振興につきましては、水田営農と畑作を中心とした「経営所得安定対策事業」の円滑な実施を進め、安定的な農産物の生産と農業所得の確保に努めると共に、水稲につきましては生産過剰にある主食用米の需給見通しに鑑み、飼料用米の生産、調整及び流通に向けた取り組みや、さらなる生産コスト低減への検討を進め、施設野菜につきましては、ビニールハウスの増棟や自動換気装置の整備について引き続き支援を行うと共に、道内一の産地として安定した成長を持続している

酪農振興につきましては、良質な生乳の生産や、ゆとりと豊かさを持った酪農経営のために、乳牛検定組合や酪

農ヘルパー組合への支援を継続してまいります。

また、町有牧野での預託事業を通じて、自給飼料及び労働力の不足を解消し、放牧管理を介した家畜の健康増進と健全育成に努めてまいります。

肉牛振興につきましては、和牛センターにおける適正な飼育管理や、なお一層の肥育技術の向上に努めると共に、当センターの利用を促進し、育種価データを活用した能力の高い繁殖雌牛の選抜を進め、効率的な和牛改良を推進してまいります。

また、育種能力の高い町有牛から採卵した受精卵につきましては、引き続き和牛改良組合及び酪農振興会に提供し、受精卵を用いた乳肉連携による和牛繁殖基盤の更なる強化と低コストな和牛生産体制の構築に努めてまいります。

家畜防疫につきましては、家畜自衛防疫組合など関係機関と連携し、家畜伝染病の発生予防に努め、引き続き予防注射や伝染病検査を支援すると共に、農場周辺での消毒の徹底や関係者以外の立入制限など、飼養衛生管理の指導と啓発に努めてまいります。

毎年農作物に多くの被害を与えておりますエゾシカやアライグマなどの有害鳥獣被害防止対策につきましては、新冠町、日高町、平取町で構成する「日高西部鳥獣被害防止対策協議会」の事業により、これまで同様に捕獲ワナや電気柵の設置を推進し、農業被害の軽減に努めてまいります。

減に努めてまいります。

なお、被害額の著しいエゾシカにつきましては、年間を通じて有害駆除期間に設定し猟友会新冠分会の協力を頂きながら駆除に努めてまいります。

次に林業の振興についてですが、森林は循環利用を可能とする貴重な財産であると共に、安全な国土の形成や自然環境の保全、さらには地球温暖化防止にも貢献するなど、私たちの生活に密接に関わっておりますので、長期的な視点に立った適切な管理に努めてまいります。

町有林につきましては、森林経営計画に基づき、伐期を迎えた若園地区のカラマツ10・12ヘクタールの皆伐のほか、植栽、下刈り及び間伐などを継続的に実施し、森林資源の有効活用や将来にわたる森林機能の維持のための事業を実施してまいります。

民有林につきましては、森林所有者の計画的な森林整備を促進するため「民有林振興対策事業」などの啓発に努め、引き続き支援を行ってまいります。

次に水産業の振興についてですが、沿岸漁業を主体とする当町にとって、限られた資源と漁場を有効に活用し、資源回復や生産増大に向けた取り組みが重要であり、漁業協同組合や関係団体との連携を図りながら、安定生産に向けた資源づくりと資源管理に努めてまいります。

主力となるタコ漁につきましては、国の支援により整備されるタコ産卵礁

の周辺に、稚ダコ保育礁の設置を組み合わせて、幼稚仔の生育を保全し、効果的な生産基盤の構築に期待できることから、引き続き支援をしてまいります。

地元漁業者から、各種要望を受けております漁港整備事業につきましては、早期に整備が進められるよう引き続き関係機関に要望してまいります。

次に、商工業の振興についてですが、商工業の経済活動は、人々の働く場の提供と、様々な商品、産品、サービスを提供し、町民の日常生活を支える重要な経済基盤となっております。活力ある商工業の振興を図るためには、商工会の機能を最大限に発揮していただき、社会や消費者の変化に柔軟に対応できる会員の経営改善や新規事業への取り組みなどに積極的に関わっていただきたく、引き続き商工会活動への支援を行ってまいります。

また、希少資源であるマツカワは、日高海域において順調に漁獲量の増加が見られますが、安定した所得の確保に向けて関係団体と連携し、魚価の向上と販路拡大への取り組みについて検討を進めてまいります。

なお、資源回復のため、ホッキ漁場の耕うんを継続してきました「水産多面的機能発揮対策事業」につきましては、本年度が事業完了年となり、また、コンブ礁への胞子付着が乏しい状況から、事業実施を見合わせてきたコンブ投石事業につきましては、漁業者や関係団体を交え、モニタリングの結果や事業効果などについて検証を行い、次年度以降の取り組みについて検討してまいります。



水産多面的機能発揮対策事業

また、平成26年度の国の補正予算で措置されました「地域住民生活等緊急支援のための交付金事業」につきましては、事業主体となります商工会と連携を図り、プレミアム付き商品券として活用を進め、地元消費の拡大と、地域経済の活性化に向けて取り組んでまいります。この取り組みは一過性のものでありますことから、今後においても財貨を可能な限り町内で循環させる新たな取り組みについて検討してまいります。

雇用対策についてですが、技能職労働者の人材確保と育成のため、引き続き資格取得費への助成を行うと共に、季節労働者や失業者に対する通年雇用の促進につきましては、新ひだか町と共同で設置しております「日高中部通年雇用促

進協議会」をはじめ、ハローワークや関係機関との連携を図り、雇用機会の確保と安定に努めてまいります。

また、国が策定した「まち・ひと・しごと創生ビジョン」に基づき、当町の地域特性や未利用資源の有効活用、農林漁業との連携や新分野への参入など、新たな雇用の創出や雇用機会の拡大について、関係団体や有識者などと連携を図りながら検討してまいります。

次に、観光振興についてですが、新冠温泉や乗馬クラブ、道の駅など、いずれも建設から一定の年数が経過し老朽化も進んでおりますので、必要な改修を行い利用者の快適性や安全性の確保に努めてまいります。

特に、新冠温泉につきましては、平成26年度に実施した「施設老朽化度調査結果及びリニューアルの提案」も受けておりますので、今後の経営や集客対策なども踏まえた上で、取り組みや対応を具体化したいと考えております。

また、ソフト面では、観光協会の事務局に、町の企画課長と観光係2名が加わり、官民一体となって観光振興を推進してまいります。

⑥学校、家庭、地域社会が一体となった人づくり

少子、高齢化が進む中、新冠町が生涯にわたり誰もが「生き生き」と暮らすことができる魅力ある町づくりを進めるためには、学校、家庭、地域社会が一体となった人づくりが求められております。

そのため、本年度から始まります「新教育委員会制度」の「総合教育会議」を実施し、教育委員会との協議、調整を図りながら、これまで以上に教育委員会と緊密な連携を取り「生き生きふるさと教育」の推進に努めてまいります。

はじめに、学校教育についてですが、これからの社会に適応した「たくましく生きる力を育む児童生徒」のため、学力向上を目指した授業改善を図り、環境整備を図ってまいります。

また、地域の特徴ある教育を進めるため、地域と学校との連携を図り、開かれた学校、信頼される学校づくりについて支援、協力してまいります。

認定こども園ド・レ・ミでは、従来の教育、保育の一層充実を図ると共に、本年度から施行されます「子育て支援制度」による、子育て支援センター機能の充実を図り、子育て環境の整備充実を図ってまいります。



認定こども園の子育て支援センター